
「高齢者における至適手術を検討する後ろ向き研究」に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学国際医療センターで診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2013年4月1日から2024年9月30日までに埼玉医科大学国際医療センターの消化器外科を受診し、胃癌、神経内分泌腫瘍、消化管間葉系腫瘍、悪性リンパ腫等の悪性疾患と診断され、胃切除を施行した患者さんを対象としております。なお、比較対象のため、若年の方のデータも使用させて頂く予定です。

2. 研究の目的

近年高齢の方で胃切除を受ける患者さんが増加しています。しかし、高齢である場合、年齢によっては手術が不利益となる可能性も考えられるため、高齢の方に対して胃切除を行う際の手術適応や最適な術式などを明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

胃切除術を行った方の検査データ、診療記録、病理結果等

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である櫻本 信一が、個人が特定できないよう加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

上記対象となった患者さんの検査・治療を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 櫻本 信一 (研究責任者)
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 江原 玄
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 鳥海 哲郎
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 松井 一晃
埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 吉澤 政俊

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 消化器外科 鳥海 哲郎

住所: 〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話: 042-984-4111 (土日祝日を除く 8:30 ~ 17:30)

○研究課題名: 高齢者における至適手術を検討する後ろ向き研究

○研究責任(代表)者: 埼玉医大国際医療センター 消化器外科 櫻本 信一